



長年培われてきた卓越した技術・伝統と、
最先端技術を取り入れる進取の気性から創り出される
「和歌山のものづくり」は、世界を見据えています。

もっと詳しく知りたいなら

ものづくり和歌山



機械・金属

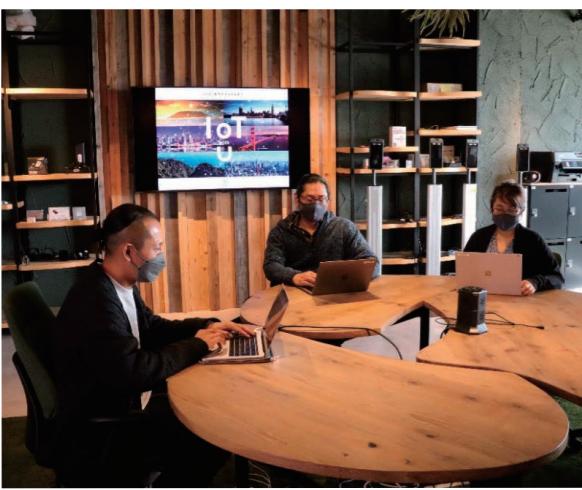
機械加工、板金、プレス、電気・電子など細やかな作業と閃きから誕生した技術。

和歌山の志高い経営者・技術者たちが繊維機械や木工機械づくりで培ってきた技術は、対応領域をさらに広げ、現在ではコンピュータ制御横編機、写真処理機器、自動捺印機、精米機、検査機器など、あらゆる分野の機器に応用されています。また、生産性の向上とサステナビリティの双方の観点から、材料や人件費のロスを減らす取組を行っており、手作業を自動化させる技術開発と仕組みづくりに尽力しています。



ICT
インフォメーション&
コミュニケーション
テクノロジー

大手から新興ベンチャーまで、
東京や大阪に本社のあるICT企業が
和歌山に進出しています。

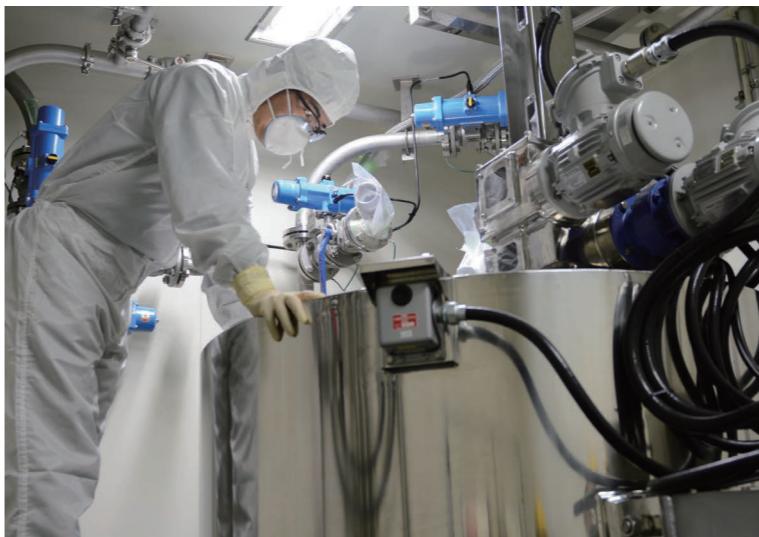


もっと詳しく知りたいなら

わかやま×ICT



首都圏と好アクセスである白浜町や和歌山市に、東京や大阪に本社のあるICT企業が続々と進出しています。和歌山のオフィスでは、システム開発や、メールやWEB会議システムを用いた営業、バックオフィス(事務・会計)等の業務を行っています。コロナ禍を契機としたテレワークの普及により、これまで都会で行っていた業務が地方でもできる時代となつたことから、自然豊かで働きやすい環境である和歌山への企業進出が今後も続いていくと見込まれます。



化学

国内初の合成染料の製造に成功し、日本の合成染料工業の基礎を築いてきた知識と技術。



和歌山の化学工業界は、小規模ながらもオンリーワンという企業が多く、多品種少量需要型の中間物を主体とした、より専門化

した事業を展開。染料、顔料、情報電子機器材料、医薬中間物、農薬中間物、繊維関連品、食品素材など、多岐にわたる製品を開発・製造しています。近年では航空機や宇宙分野などの最先端分野においても、国内外から高く評価されています。また、持続可能なものづくりのための技術開発を推進しています。





もっと詳しく知りたいなら



食品加工

自然豊かな環境で育まれた
和歌山のおいしい「食」を
新たな姿に生まれ変わらせています。

みかん・梅・柿・山椒
生産量全国一位



温暖でありながら寒暖差を生む深い山々、黒潮と瀬戸内海の恵みを受けた豊かな海、四季折々、地域ごとに異なる表情を見せる和歌山県は、まさしく「食の宝庫」。生産量日本一を誇る「みかん」「梅」「柿」「山椒」はもちろん、多彩な「海の幸」「山の幸」を使って、作り手たちが心を込めて生み出した、和歌山県産のおいしい“食”を、全国に向けて発信していきます。



ニット

1909年に5台の丸編機から
スタートし、今では世界有数の
ニット産業の集積地に。

丸編みニット生地
生産量全国一位



近年は受注生産型産地から、オーダー
メードやオリジナル企画生地の提案型
産地へのシフトを図っています。和歌山
のニット生地はバーカーやスエット、靴
下など幅広い製品に使用されており海
外の高級ブランドにも採用されるなど、
技術の継承だけでなく、世界に向けた
ニットの創造につとめています。



パイル

高野口を中心とした日本で唯一の
総合パイルファブリック産地は
世界的にも注目されています。



旧高野口町を中心に橋本市、かつらぎ町、九度山町にまた
がって形成されています。特殊な織機を有する企業、染色工
場や加工場など関連企業も多く集積しているため、様々な
ニーズに対応できるのが強みです。また、リアルファーのかわり
として上質なエコファーの需要が高まる中、ジャパンエコファーの
商標を取得し、リアルファーにはできない加工を施した製品開発にも
取り組むなど、優れた企画開発力も注目されています。



家庭用品

圧倒的な全国シェア!
伝統工芸をヒントにして
斬新なアイデア商品を展開。

タワシ・ホウキの原料となる棕櫚(しゅろ)の産地であった海南市・
野上谷地域を中心に発展してきた水廻り用品などの家庭用品産
業。現在はホームセンター、生活雑貨店や100円ショップ等を通
じて、一般家庭への流通はもちろん、新素材の開発によって近年
は医療業界や海外流通も増加しています。また循環型社会への取組として、出発点である
棕櫚が持つ「優れた耐久性」「水を汚さない」「効果的に汚れを落とす」「100%自然へと還
る」といった特性に再着目。原点回帰によつて新たな可能性を見出し、安心安全をモット
ーに人にも地球にも優しい製品を開発して
います。